

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	社会学研究科
大項目	4 教育研究組織
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KG1)研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 学内外他研究科、研究所との連携	→学内外他研究科とのゼミ交流活動の実施、共同ワークショップ、共同シンポジウム企画の実施/参加回数	A
2. 海外の研究機関との連携	→若手研究者海外派遣制度などを利用した大学院生の海外研究拠点への派遣回数・人数	A
3. 大学院生の評価、外部委員の評価を取りまとめる大学院教育アセスメント部会などの設置・審議	→大学院教育アセスメント部会の設置の有無および審議回数	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

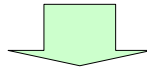
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目4.0.1	(現状説明) 大学院前期課程指導教員の任用基準の見直しを受けて、2009年度より大学院前期課程指導教員数を増やした。その結果、多様な観点からの幅広い教育・研究活動を推進している。
☆ 小項目4.0.2	(現状説明) 大学院連絡会、大学院研究科委員会において、教育・研究組織について検証を行っている。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	



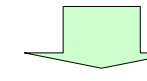
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】
○教育研究体制の充実や他機関との連携が順調に進展しています。今後とも継続的な検証作業が期待されます。

【学内委員】
○小項目4.0.1の現状説明は、教育研究組織というより、教員組織（大項目11）についての説明のように思います。
○社会学研究科は、学内外他研究科と積極的に交流を行っています。また、前期課程の指導教員数の増加により、研究教育の幅も広めており、これらの点は大いに評価できます。また教育研究組織の適切性についても定期的に検証しており、この点も評価できます。今後も、理念・目的に合うように適宜再検証・改善が行われることが期待されます。
○小項目4.0.2の現状説明において、検証は何回行い、どういう結果であったかの記述が望まれます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

小項目4.0.1
☆ 大学院前期課程指導教員の任用基準の見直しを受けて、2009年度より大学院前期課程指導教員数を増やした。そのことを通じて、セオリー/モデル、フィールド/メソッド、リサーチ/データ/プレゼンテーションという幅広い観点から教育・研究活動を推進し、ソシオリテラシーの実現を図っている。

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

--	--

<個別的な指標>

--	--